

YES,  
I KNOW!

AZIA®

## Dell EMC PowerEdgeサーバー

Dell EMC PowerEdgeサーバーを利用されているお客様のご意見やご感想を、Dell EMCの瀬尾はるかが、お客様とのインタビューを通してお伝えするYes, I Know (YIK!) シリーズ。第二弾は株式会社エイジア。

2012年以来、PowerEdgeサーバーの高信頼性とDell EMCのサポート・サービスを高く評価し、継続してPowerEdge R700番台シリーズを導入している。主力事業のCRMビジネスに欠かせないITインフラ基盤としてPowerEdgeを採用するに至った経緯や運用上の感想など、インフラ基盤マネジメント部長 影山恵邦氏を訪問して話を聞いた。



*Here we go!!*

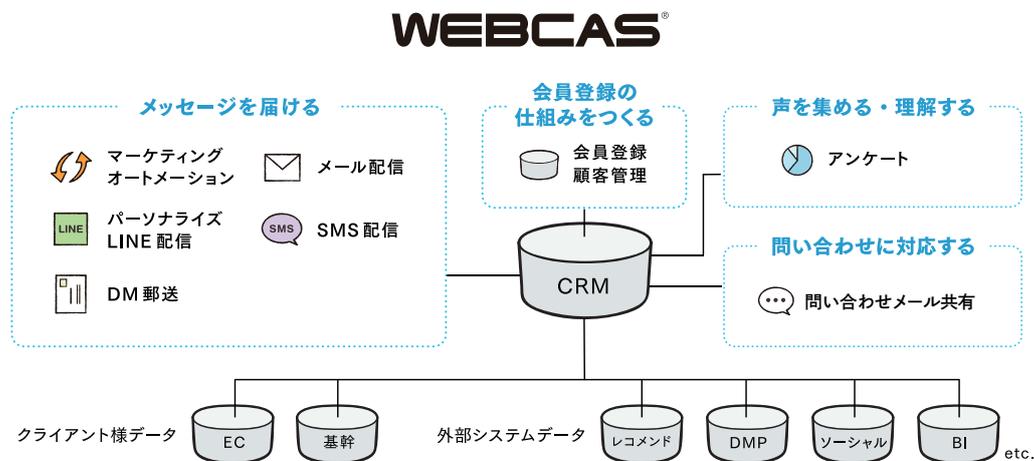


メールをはじめとする多様なチャネルで、マーケティングコミュニケーションを実現。主力製品のCRMアプリケーションシステム「WEBCAS(ウェブキャス)」シリーズを主力事業とするエイジア。

近年企業が取り組むマーケティングコミュニケーションは多様化・複雑化しており、これまで以上に充実したツールが求められている。「顧客データベースを活用したOne to Oneメッセージを、よりタイムリーに多様なチャネルで届けたい」という企業からの要望は高まるばかりだ。

エイジアは、自社開発のメール配信システムにおいて大量配信、高速処理を強みにしてきたが、その強みを伸ばし大規模なマーケティングキャンペーンの展開を可能にする新しいインフラ基盤を構築するための機器として、Dell EMC PowerEdgeサーバーを選択した。PowerEdgeサーバーは世界シェアNo.1で日本でも市場シェアを順調に伸ばしている。エイジアがPowerEdgeサーバーを導入するに至ったきっかけや、利用している中で感じていることを聞いてみた。

ウェブキャスのご利用イメージ



## PowerEdgeサーバー採用の背景

### 大量処理、大規模キャンペーンにも耐えうる次世代基盤の構築

これまでの環境はいわゆるサーバー、ストレージ、ネットワークによる3階層アーキテクチャーで構成されていた。iSCSIの通信が途絶えて予期せぬ

フェイルオーバーが発生したり、ヘアピン通信の発生でネットワークリソースが十分活用出来なくなったり、I/Oについても満足できるパフォーマンスが発揮出来ていないといった課題を抱えていた。システムの老朽化とも相まって、2017年頃より今後の市場のニーズを見据えた次世代インフラ基盤構築の検討を開始した。クラウドサービスのセキュリティ強化を日々推進

していることもあり、充分に対策がされているデータセンターの検討及び、次世代のシステム基盤の構築が求められた。当初はHCI、VSAN、NSXに注目してセミナーなどに積極的に参加し情報収集も行ったが、保守性の高さや管理性の容易さからVSANとNSXの技術が最も自社に適しているであろうという決断に至った。そこで導入される300VM程度を動かす次世代基盤としては、これまで利用しており壊れにくく安定稼働しているPowerEdgeサーバーを採用することを決意した。

そこでの課題は、インターネット回線を増加して安全なネットワーク領域DMZ(非武装地帯)を確保してきているこれまでの環境を崩さずに、新しい環境をNSXで実現したいということ。検討を進める中で、Dell EMCの担当チームがきめ細やかに要件を汲み取り、設定や構成についてアドバイスをしてくれたことで課題解決に大いに役に立った。その結果、大量処理、高速処理、ネットワークの増強といった要件を実現し、フロントで1Gbの通信も確保もできた。



## PowerEdgeサーバーを利用して

### 継続利用の決め手、高い製品品質

エイジアでは2012年からPowerEdge R710からR720、R730、R740と700番台シリーズのPowerEdgeを、世代が替わっても続けて導入している。その理由として、ハードウェアの高い信頼性が挙げられる。これまで経験した障害は数えるほどしかなく、「壊れにくい、安定しているサーバー」であると認識している。サーバーへの安心感は障害が起こりにくいことだけでなく、サーバー管理システムであるiDRAC (integrated Dell Remote Access Controller) も使い勝手の良さを感じている。ハードウェアのシステム稼働状況が、リアルタイムで簡単に把握できることは大変気に入っている点でもある。

### Dell EMCのサポート体制への高い評価

サポート面で一番良いと感じている点は、エンタープライズ向けDell EMC ProSupport Plusサービスが充実していること。一番思い出深いエピソードとして、ネットワーク機器の設定がうまく出来なかったときにその設定方法を詳しく説明してもらい、その回答が迅速であったことにより計画されたサービスインの納期に間に合わせる事が出来たことを挙げる。またこれまでトラブルの発生時にはその素早い対応スピードに助けられており、高い保守の品質から社内向けシステムにはほとんどすべてPowerEdgeサーバーが利用されている。Dell Technologiesの一員でもあるVMwareの保守サポートについても窓口が一括化されていることで、問い合わせコストが大いに軽減されていると感じている。切り分けが困難なトラブルが発生しても、どこに問い合わせたらいいのか悩んでしまうこともなく、問い合わせ窓口が一括化されていることで運用効率が向上している。

## PowerEdgeテクニカルセミナー「宮崎キャンプ」に参加して

Dell EMCでは、PowerEdgeのご導入を検討中のお客様を中心に、DellのクライアントPCやサーバー、ストレージ製品をサポートするコールセンターの拠点、宮崎コールセンター(MCC)にお招きし、製品の優位性だけでなくサービスサポートの実力を見学いただく、PowerEdgeテクニカルセミナー「宮崎キャンプ」を定期的開催している。2018年11月にそ

の宮崎キャンプに参加し、元来Dell EMCは保守の品質は高いという印象だったが、Dell EMC社員が実際に真摯にサポートをしている現場を見学することで、より一層信頼できる会社だという思いを新たに。特にDellの創設者であるマイケル・デルは1984年PCの保守管理会社としてビジネスをスタートさせたという逸話や、カスタマーセンターの現場を

見て、かつては保守員だった自分を重ね懐かしさも覚えた。カスタマーセンターにはリアルタイムでTwitterやSNSを常時閲覧している専任部隊がいて、そこで見つけた「トラブルが発生している最中のお客様」に担当者が直

接連絡を取ることもあると聞き、そこまで徹底して対応しているという事実は衝撃的でもあった。センターの壁一面にはIT関連資格取得者の写真が並び、社員一人一人の技術の高さを思わせ印象的だった。

## 今後のPowerEdgeのさらなる進化にも期待

自身も運用面でAIの活用を検討している。Dell EMCのサービスでも運用しているシステムの情報がDell EMCに集まり「そろそろ壊れるよ」とか「そろそろサーバーの追加が必要だよ」など対応すべき事柄を教えてくれる

サービスがあればいいと考えている。また新しい技術を導入する際には、ベストプラクティスの情報があるとないとは大違いなので、そのような活用状況の情報が提供されることも期待している。

## ユーザーの声

『システムの質を落とさずやりたいことを実現できたのはデルのサポートのおかげです。ひやひやする障害の場面でも、信頼に値するPowerEdgeサーバーなら安心して任せられます。』



インフラ基盤マネジメント部長  
影山 恵邦 氏

エイジア様が、自社が提供するサービスにDell EMC PowerEdgeサーバーを継続してご採用いただいている理由が、「充実したサポート」への評価と「壊れにくく安定している製品である」と製品の良さを感じていただいている点にあることを知り、本当にうれしく思いました。今後エイジア様がますます高い品質のサービスを拡充されていく中で、PowerEdgeサーバーがお役に立てること、また宮崎カスタマーセンターをはじめDell EMCチーム全員で良い製品と高いサポート品質をご提供し続けられるよう、万全を期したいと思います。



この記事を共有する



<https://twitter.com/DellEMCJapan>



<https://ja-jp.facebook.com/DellEMC/>



Dell EMCの  
サーバーソリューションの  
詳細はこちらから

<https://www.dell.com/ja-jp/servers/index.htm>



専門スタッフへ  
のお問合せ

<https://marketing.dell.com/jp/ja/contact>



お客様導入事例一覧

<https://www.dell.com/ja-jp/customer-story/index.htm>